令和５年度　年間学習指導計画案

科目	人体の構造と機能	単位数	１単位 （１、２学期）	学年・学科・コース	２年・衛生看護科
使用教科書	看護学入門１　人体のしくみと働き （メヂカルフレンド社）			副教材等	なし

１．学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	看護の見方・考え方を働かせ、人体の構造と機能に関する実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、看護の実践に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・栄養について体系的・系統的に理解するようにする。 ・栄養に関連する生活行動や健康の基本的な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・栄養について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点		
ａ．知識・技能	**ｂ．思考・判断・表現**	**ｃ．主体的に学習に取り組む態度**
栄養学について体系的・系統的に理解を深め、健康について考える科学的視点の一つとして人間の生活行動と関連付けて理解している。	栄養と人々の生活行動を関連付け健康にかかわる基本的課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて、解決する力を身に付けている。	栄養について自ら学び、健康の保持増進を目指す看護への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

２．学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	評価規準	評価方法
4 5	栄養	・栄養素の働き	○			・各栄養素の体内での働きやその特徴について理解している。	定期考査 授業態度 提出物 小テスト
				○		・食生活の現状と課題について考察できる。	
					○	・健康保持増進について、関心を持ち主体的に学習しようとする。	
6	栄養	・栄養素と代謝	○			・健康の保持に欠かせない栄養素の代謝やエネルギー代謝と消費エネルギーのバランス、エネルギーと各栄養素の過不足が健康に与える影響を理解している。	
				○		・対象の栄養状態をアセスメントし、評価できる。	
					○	・各栄養素と代謝や各栄養素の過不足が健康に与える影響について、関心を持ち主体的に学習しようとする。	
7 8	栄養	・食生活と健康	○			・日々の食生活が与える影響について理解している。	定期考査 授業態度 提出物 小テスト
				○		・生活者の食生活と健康を総合的に把握し考察できる。	
					○	・日々の食生活が与える影響や生活者の健康について、関心を持ち主体的に学習しようとする。	
9	栄養	・ライフステージと栄養	○			・各ライフステージの身体的・生理的特徴と必要な栄養素について理解している。	
				○		・各ライフステージの食生活で起こりやすい問題について考察できる。	
					○	・各ライフステージの食生活について、関心を持ち主体的に学習しようとする。	
１０ １１	栄養	・病態と栄養	○			・疾病や障害に応じた栄養について理解している。	
				○		・疾病や障害の種類に応じて選択される栄養について考察できる。	
					○	・疾病や障害に応じた栄養について、関心を持ち主体的に学習しようとする。	